

# 受難節 夕の祈り⑤

2021年3月24日(受難節第5週水曜日) 19:00～

## ◆祈りへの備え(沈黙)

## ◆讚美 283「深い愛により」

## ◆祈りへの招き 詩編118編より

司式 恵み深い主に感謝せよ。

会衆 慈しみはとこしえに。

司式 イスラエルは言え。

会衆 慈しみはとこしえに。

司式 アロンの家は言え。

会衆 慈しみはとこしえに。

司式 主を畏れる人は言え。

会衆 慈しみはとこしえに。

司式 苦難のはざまから主を呼び求めると

会衆 主は答えてわたしを解き放たれた。

司式 主はわたしの味方、  
わたしは誰を恐れよう。

会衆 人間がわたしに何をなしえよう。

司式 主はわたしの味方、助けとなって

会衆 わたしを憎む者らを支配させてくださる。

司式 人間に頼らず、主を避けどころとしよう。

会衆 君侯に頼らず、主を避けどころとしよう。

司式 国々はこぞってわたしを包囲するが

会衆 主の御名によってわたしは必ず彼ら  
を滅ぼす。

司式 彼らは幾重にも包囲するが

会衆 主の御名によってわたしは必ず彼ら  
を滅ぼす。

司式 蜂のようにわたしを包囲するが  
茨が燃えるように彼らは燃え尽きる。

会衆 主の御名によってわたしは必ず彼ら  
を滅ぼす。

司式 激しく攻められて倒れそうになったわ  
たしを、主は助けてくださった。

会衆 主はわたしの砦、わたしの歌。  
主はわたしの救いとなってくださった。

司式 御救いを喜び歌う声が主に従う人の  
天幕に響く。

会衆 主の右の手は御力を示す。

司式 主の右の手は高く上がり

会衆 主の右の手は御力を示す。

司式 死ぬことなく生き長らえて

主の御業を語り伝えよう。

会衆 主はわたしを厳しく懲らしめられたが  
死に渡すことはなさらなかった。

## ◆罪の告白の呼びかけ

司式 すべてを新しくしてくださる神の愛に  
信頼して、わたしたちの罪を、神と隣  
人たちの前で告白いたしましょう。

## ◆罪の告白の祈りと赦しの宣言

一同 憐れみの神。

すべての違いを超えて互いに愛し合  
いなさいとのあなたさまの戒めは、わ  
たしどもに新しい地平を開かせるもの  
です。

けれども、わたしどもは、しばしば、恐  
れと裁きをもたらすものとして戒めを  
受けとめ、あなたさまが人のためにお  
定めくださった目標を妨げてきてしま  
いました。

わたしどもの罪をお赦しくくださいます  
よう、祈ります。

わたしどもに真実の悔い改めをお与  
えください。

わたしどもが、すべての被造物のた  
めに生きるようにされるために。

イエスの御名によって祈ります。

アーメン

司式 神の約束は、信頼に値するもの、また  
真実なものです。

あなたの罪は、赦されます。

平和のうちに、主に仕えなさい。

あなたが、常に、あなたの愛によって  
知られる者であることができますように。

## ◆祈り

司式 おどろくべき神、  
イエス・キリストのご復活によって、あなたさまは、すべてを新しくしてくださいます。

かつて、あなたさまは、ご自分の教会をお召しく下さいました。それは、社会や文化の違いをすべて超えた愛に向かわせるためでした。

また、教会には、聖霊の賜物をお与えくださいました。それは、教会に召された者の心が、愛を行えるように開かれたものとされるためでした。

わたしどもにも、それと同じ「開かせる霊」をお与えください。

わたしどもが、この時代にあつて、新しい方向を見定めることができるようになるためです。

すべての被造物を和解させ、いやされるという、あなたさまの夢に向かわせる、新しい方向です。

イエスの御名によって祈ります。

一同 アーメン

## ◆聖書朗読

### マタイによる福音書 22章

<sup>1</sup>イエスは、また、たとえを用いて語られた。<sup>2</sup>「天の国は、ある王が王子のために婚宴を催したのに似ている。<sup>3</sup>王は家来たちを送り、婚宴に招いておいた人々を呼ばせたが、来ようとしなかった。<sup>4</sup>そこでまた、次のように言って、別の家来たちを使いに出した。『招いておいた人々にこう言いなさい。「食事の用意が整いました。牛や肥えた家畜を屠って、すっかり用意ができています。さあ、婚宴においでください。」』<sup>5</sup>しかし、人々はそれを無視し、一人は畑に、一人は商売に出かけ、<sup>6</sup>また、他の人々は王の家来たちを捕まえて乱暴し、殺してし

まった。<sup>7</sup>そこで、王は怒り、軍隊を送って、この人殺しどもを滅ぼし、その町を焼き払った。<sup>8</sup>そして、家来たちに言った。『婚宴の用意はできているが、招いておいた人々は、ふさわしくなかった。<sup>9</sup>だから、町の大通りに出て、見かけた者はだれでも婚宴に連れて来なさい。』<sup>10</sup>そこで、家来たちは通りに出て行き、見かけた人は善人も悪人も皆集めて来たので、婚宴は客でいっぱいになった。<sup>11</sup>王が客を見ようと入って来ると、婚礼の礼服を着ていない者が一人いた。<sup>12</sup>王は、『友よ、どうして礼服を着ないでここに入って来たのか』と言った。この者が黙っていると、<sup>13</sup>王は側近の者たちに言った。『この男の手足を縛って、外の暗闇にほうり出せ。そこで泣きわめいて歯ぎりするだろう。』<sup>14</sup>招かれる人は多いが、選ばれる人は少ない。」

<sup>15</sup>それから、ファリサイ派の人々は出て行って、どのようにしてイエスの言葉じりをとらえて、畏にかけようかと相談した。<sup>16</sup>そして、その弟子たちをヘロデ派の人々と一緒にイエスのところに遣わして尋ねさせた。「先生、わたしたちは、あなたが真実な方で、真理に基づいて神の道を教え、だれをもはばからない方であることを知っています。人々を分け隔てなさらないからです。<sup>17</sup>ところで、どうお思いでしょうか、お教えてください。皇帝に税金を納めるのは、律法に適っているでしょうか、適っていないでしょうか。」<sup>18</sup>イエスは彼らの悪意に気づいて言われた。「偽善者たち、なぜ、わたしを試そうとするのか。<sup>19</sup>税金に納めるお金を見せなさい。」彼らがデナリオン銀貨を持って来ると、<sup>20</sup>イエスは、「これは、だれの肖像と銘か」と言われた。<sup>21</sup>彼らは、「皇帝のものです」と言った。すると、イエスは言われた。「では、皇帝のものは皇帝に、神のものは神に返しなさい。」<sup>22</sup>彼らはこれを聞いて驚き、イエスをその場に残して立ち去った。

<sup>23</sup>その同じ日、復活はないと言っているサドカイ派の人々が、イエスに近寄って来て尋ねた。<sup>24</sup>「先生、モーセは言っています。『ある人が子がなくて死んだ場合、その弟は兄嫁と結婚して、兄の跡継ぎをもうけねばならない』と。<sup>25</sup>さて、わたしたちのところ、七人の兄弟がいました。長男は妻を迎えましたが死に、跡継ぎがなかったので、その妻を弟に残しました。<sup>26</sup>次男も三男も、ついに七人とも同じようになりました。<sup>27</sup>最後にその女も死にました。<sup>28</sup>すると復活の時、その女は七人のうちのだれの妻になるのでしょうか。皆その女を妻にしたのです。」<sup>29</sup>イエスはお答えになった。「あなたたちは聖書も神の力も知らないから、思い違いをしている。<sup>30</sup>復活の時には、めとることも嫁ぐこともなく、天使のようになるのだ。<sup>31</sup>死者の復活については、神があなたたちに言われた言葉を読んだことがないのか。<sup>32</sup>『わたしはアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である』とあるではないか。神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神なのだ。」<sup>33</sup>群衆はこれを聞いて、イエスの教えに驚いた。

<sup>34</sup>ファリサイ派の人々は、イエスがサドカイ派の人々を言い込められたと聞いて、一緒に集まった。<sup>35</sup>そのうちの一人、律法の専門家が、イエスを試そうとして尋ねた。<sup>36</sup>「先生、律法の中で、どの掟が最も重要でしょうか。」<sup>37</sup>イエスは言われた。「『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』<sup>38</sup>これが最も重要な第一の掟である。<sup>39</sup>第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』<sup>40</sup>律法全体と預言者は、この二つの掟に基づいている。」

<sup>41</sup>ファリサイ派の人々が集まっていたとき、イエスはお尋ねになった。<sup>42</sup>「あなたたちはメシアのことをどう思うか。だれの子だろうか。」彼らが、「ダビデの子です」と言うと、<sup>43</sup>イエスは言われた。「では、

どうしてダビデは、霊を受けて、メシアを主と呼んでいるのだろうか。

<sup>44</sup>『主は、わたしの主にお告げになった。

「わたしの右の座に着きなさい、  
わたしがあなたの敵を

あなたの足もとに屈服させるときまで』と。』

<sup>45</sup>このようにダビデがメシアを主と呼んでいるのであれば、どうしてメシアがダビデの子なのか。」<sup>46</sup>これにはだれ一人、ひと言も言い返すことができず、その日からは、もはやあえて質問する者はなかった。

### ◆黙想

### ◆とりなしの祈り

司式 変わらぬ愛の神

あなたさまは、わたしどもが倒れたときには起き上がらせてくださいます。また、わたしどもの足を、堅い地に立たせてくださいます。あなたさまの誠実さに力づけられて、わたしどもは、祈りをささげます、キリストにあって、わたしどものものとしていただいた御恵みに感謝して。

会衆 [沈黙]

司式 あなたさまの教会の使命のために祈ります。わたしどもが、この時代の世に向けて良き知らせを告げることができますように。わたしどもは、あなたさまを信頼いたします。

会衆 [沈黙]

司式 この世界のために祈ります。あなたさまの救いとなる愛が、この地の果てまで行き届きますように、わたしどもは、だれにも共通して善きことに仕えます。

会衆 [沈黙]

司式 苦しみを受けているすべての人のために祈ります。わたしどもが、その人たちの叫びに心を留めることができますように。わたしどもは、あなたさまの変わらぬ憐れみのうちに、その苦しみを分かち合います。

会衆 [沈黙]

司式 あなたさまの造られた被造物のために祈ります。わたしどもが、その幸いを守ることができますように。

わたしどもは、贖いのために共に働きます。

会衆 [沈黙]

司式 あなたさまの御前にあって死を迎えた人々のことを憶えます。また、今まさに死のときを迎えようとしている人々のために、祈ります。その人々が、あなたさまの平和を知ることができますように。

会衆 [沈黙]

司式 キリストを通して、キリストと共に、キリストにあって、聖霊の一致のうちに、すべての栄光と誉れは、全能の御父、あなたさまのものです、永遠に、いつまでも。

会衆 アーメン

### ◆派遣

司式 わたしたちは、キリストへとバプテスマ〔洗礼〕を受けた者であって、今は、神のご支配の下に生きています。

思い起こせ、契約の子らよ、いかに神が、わたしたちを迎え入れ、わたしたちのすべてを愛してくださったかを。

日々、良き知らせを告げて、生きなさい。一人ひとり皆、受け入れられたのです。一人ひとり、神の家族の一人なのです。今、あなたは、出て行って、世界中の兄弟姉妹との間で、愛し合うことができますように。

一同 アーメン

### ◆讃美

529 「主よ、わが身を」

### ◆退堂